

## 平成22年度 神戸市学力定着度調査の結果について

神戸市教育委員会は、児童生徒の学力定着状況を把握し学力向上に役立てるために、平成15年度より独自の学力定着度調査を行っている。このたび22年度の調査結果を取りまとめた。

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の対象学年と対象児童・生徒数

	抽出数	備考
小学校5年生	1,350人	全市小学校第5学年の約10%
中学校2年生	1,190人	全市中学校第2学年の約10%

#### (2) 調査方法と調査教科・内容

調査方法・対象学年等		調査教科・内容
教科に関する調査	小学校5年生	国語・社会・算数・理科
	中学校2年生	国語・社会・数学・理科・英語
質問紙調査	小5児童・中2生徒	学習に対する意識・生活実態調査
	教員	児童生徒の学習状況・学校教育活動に関する調査

※調査問題は、過去の全国調査（平成13・15年度教育課程実施状況調査（文部科学省）等）や神戸市独自作成問題等を組み合わせて使用した。

#### (3) 今回の調査の特徴

新学習指導要領の全面実施と今後10年を見据えた調査にするために、「新規の学習内容や学習学年が移行した学習内容の出題」「活用する力を把握するための出題」「つまづきやすい箇所の定着状況を把握するための出題」といった新しい視点を加えた。

(4) 標準実施日 平成22年10月26日（火）・27日（水）

### 2. 結果の概要

#### (1) 教科に関する調査結果

- ・小・中学校ともに、全ての教科について、学力は概ね定着している。
- ・領域別では、小学校では「社会」の「地図の基礎・基本」「日本の地理」、「理科」の「物質とエネルギー」「地球と宇宙」が良好な結果であった。課題がみられた「社会」の「世界の地理」は、学習指導要領の改訂に伴い、移行期間中に新たに学習した内容であった。また、中学校では「数学」の「数と式」が良好な結果であった。

#### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

- ・学校の授業が、「分かる」と答えた児童生徒の割合が、中学校で77.4%と、調査開始から最もよい結果となった。小学校でも91.5%と高い結果となった。
- ・本を1か月に小学生で4冊以上、中学生で3冊以上読む割合が、平成16年度以来増えており、これまでで最もよい結果となった。
- ・「朝食を毎日食べる」と答えた児童生徒の割合が、小中学校ともに上昇傾向にあり、これまでで最も高い結果となった。
- ・1時間以上テレビゲームをする児童生徒は、前年度と比べると増えている。

#### (3) 教員に対する質問紙調査

- ・小中学校の連携の中で今後重視する取組として「生徒指導上の情報交換会」とともに「互いの授業を参観する研修会」を約半数の教員があげた。

### 3. 教科に関する調査より

#### 《小学校》

(単位：%)

		領域別				
国 語		教科全体	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
	神戸市平均正答率	74.0	69.0	68.4	62.1	81.8
	設定通過率	72.3	65.0	68.0	65.0	78.2
	評価	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着
社 会		教科全体	地図の 基礎・基本	日本の 地理	世界の 地理	日本の 農業・水産業
	神戸市平均正答率	66.3	76.7	70.3	54.3	65.8
	設定通過率	64.6	71.7	65.0	60.0	63.3
	評価	概ね定着	良好	良好	課題	概ね定着
算 数		教科全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係
	神戸市平均正答率	76.5	75.4	83.2	73.5	81.4
	設定通過率	76.1	76.4	80.0	72.9	78.0
	評価	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着
理 科		教科全体	物質と エネルギー	地球と 宇宙	生物と その環境	
	神戸市平均正答率	78.4	75.9	79.1	79.9	
	設定通過率	73.5	70.0	73.3	75.8	
	評価	概ね定着	良好	良好	概ね定着	

#### 【正答率及び設定通過率について】

○正答率……正答した児童生徒の人数の割合 (50人中40人が正答していれば80%)

○設定通過率…問題を作成した際に設定した「おおむね満足できる状況」と判断する基準正答率

設定通過率70%の問題：70%の児童生徒が正答していれば「おおむね満足できる状況である」と判断できる問題

※通過率は、その問題を過去に実施した際の正答率(全国調査、神戸市調査等)や問題の難易度から設定した。

#### 【抽出調査の精度と評価について】

○調査結果の精度として±5ポイントの誤差を見込んでおり、分析にあたっては、正答率の比較を行う際に、次の基準で評価を行った。

+5ポイント以上…良好である

+4.9～-4.9ポイント…概ね定着している

-5ポイント以下…課題がある

《中学校》

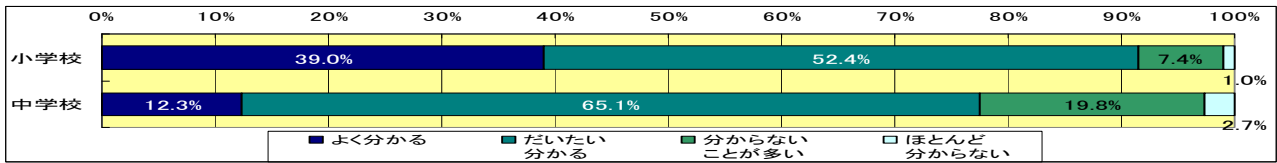
(単位：%)

		領域別				
国 語		教科全体	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
	神戸市平均正答率	68.4	86.6	52.6	66.4	69.3
	設定通過率	67.1	85.0	55.0	66.7	65.7
	評価	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着
社 会		教科全体	地理		歴史	
	神戸市平均正答率	50.5	53.5		47.4	
	設定通過率	53.8	55.4		52.3	
	評価	概ね定着	概ね定着		概ね定着	
数 学		教科全体	数と式	図形	関数	資料の活用
	神戸市平均正答率	63.9	65.1	66.8	63.6	55.5
	設定通過率	61.3	60.0	64.0	61.7	60.0
	評価	概ね定着	良好	概ね定着	概ね定着	概ね定着
理 科		教科全体	物理	化学	地学	生物
	神戸市平均正答率	57.8	60.9	51.5	57.7	60.4
	設定通過率	56.1	58.6	51.4	56.0	57.8
	評価	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着
英 語		教科全体	聞くこと	読むこと	書くこと	
	神戸市平均正答率	67.1	70.5	68.1	59.6	
	設定通過率	65.5	70.0	66.7	60.0	
	評価	概ね定着	概ね定着	概ね定着	概ね定着	

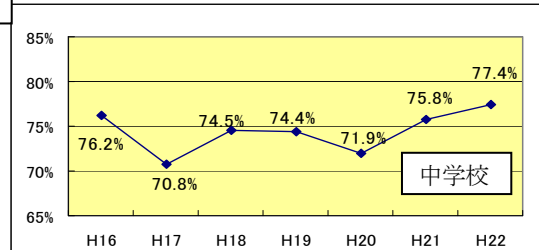
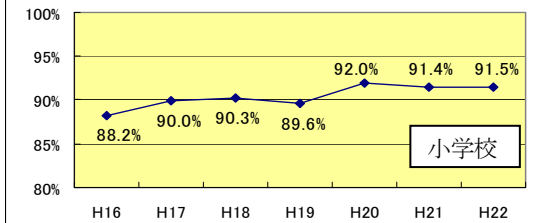
#### 4. 質問紙調査より

##### (1) 児童生徒の学習に対する意識・生活実態調査より

学校の授業がどの程度分かりますか？

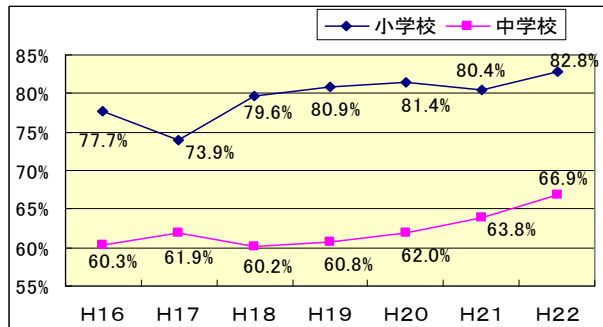


「よく分かる」「だいたい分かる」と答えた割合の変化



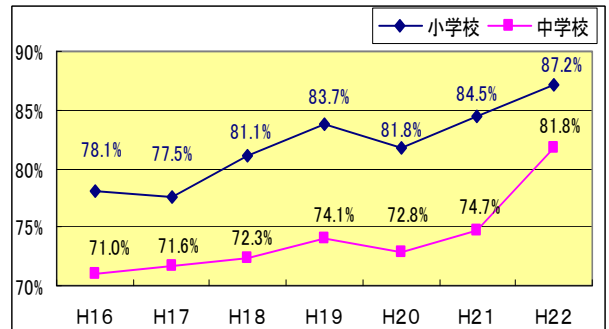
学校であったことや友だちのことを家の人に話しますか？

「している」「どちらかといえばしている」と答えた割合の変化

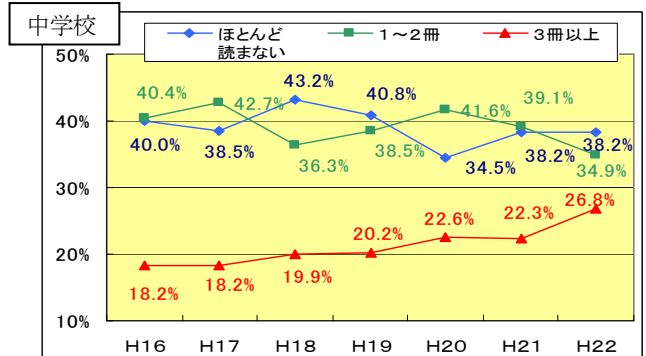
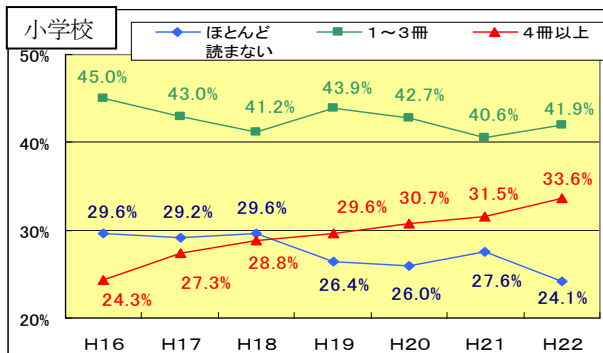


朝食を毎日食べていますか？

「毎日食べる」と答えた者の割合の変化

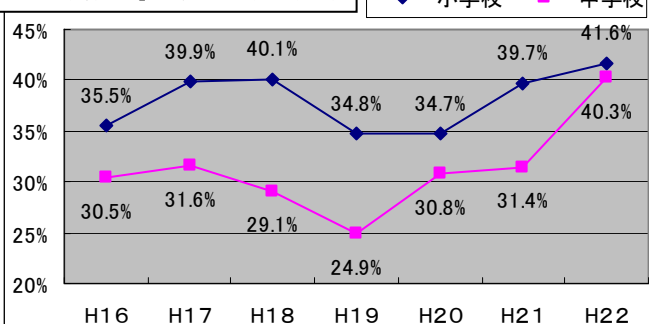


1か月に何冊ぐらいの本を読みますか？（教科書・参考書・マンガ・雑誌をのぞく）



1日にどのくらいの時間テレビゲームをしますか？

「1時間以上」と答えた者の割合



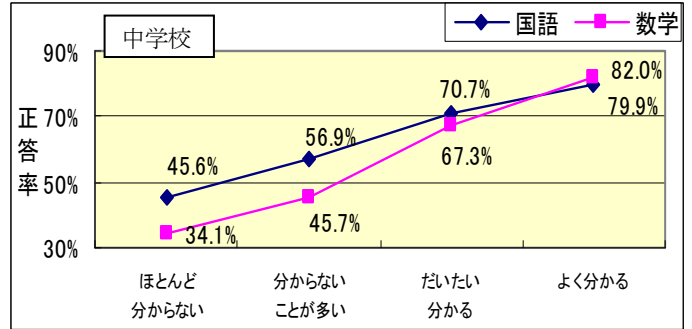
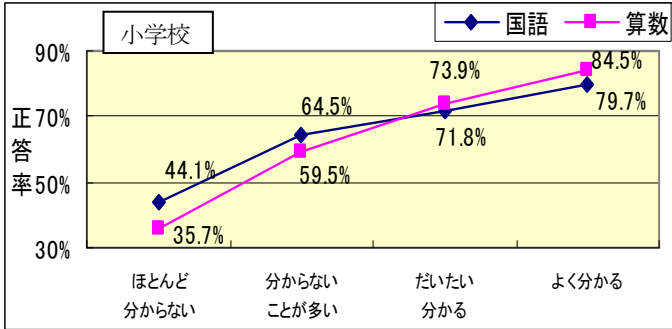
あなたは次のことに、どれくらい当てはまりますか？

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた者の割合

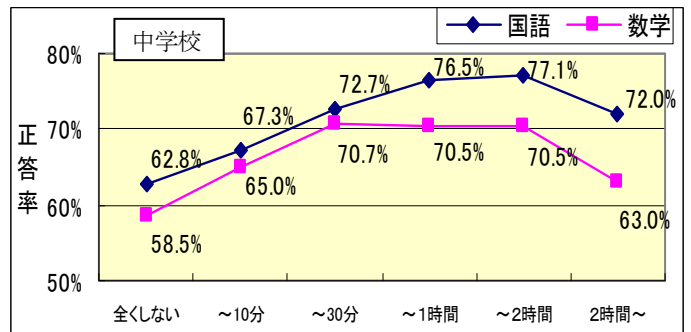
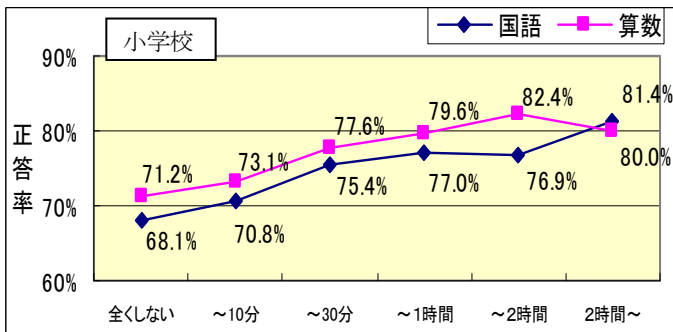
規範意識の項目	小学校	中学校
友達との約束を守る	97.5%	97.5%
いじめはいけない	94.0%	91.3%
人の気持ちが分かる人になりたい	92.4%	94.5%
学校のきまりを守る	88.8%	91.9%

◎ 生活実態と学力との相関関係より

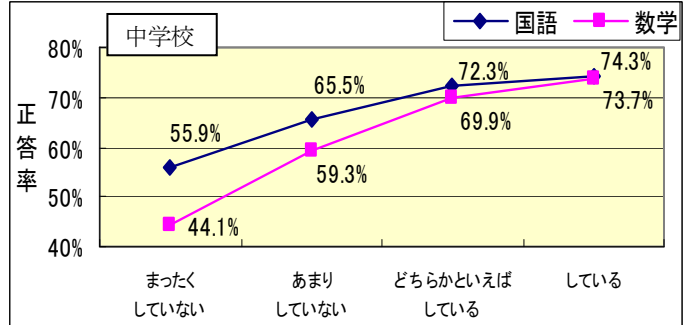
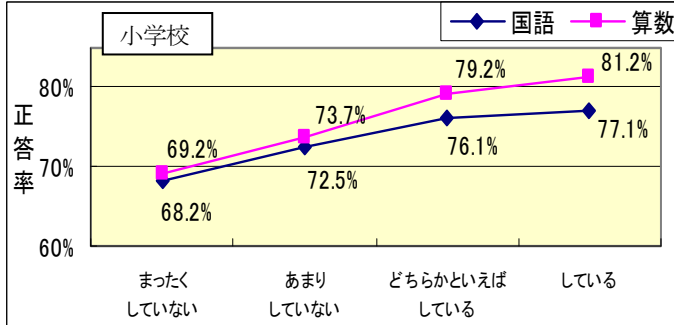
「授業が分かる」×正答率



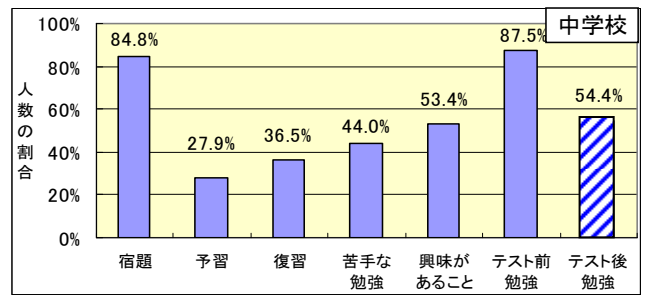
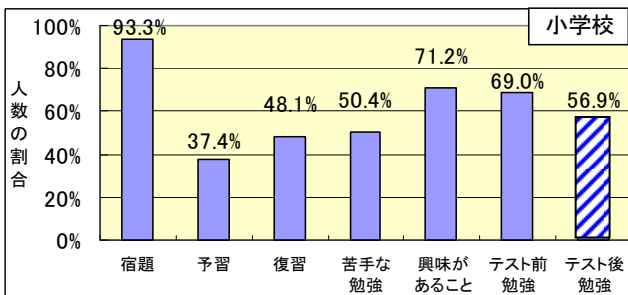
「1日の読書時間」×正答率



「テストで間違えたところを後で勉強している」×正答率



ふだん、家庭で次の勉強をしていますか？（数値は「している」「どちらかといえばしている」の合計）

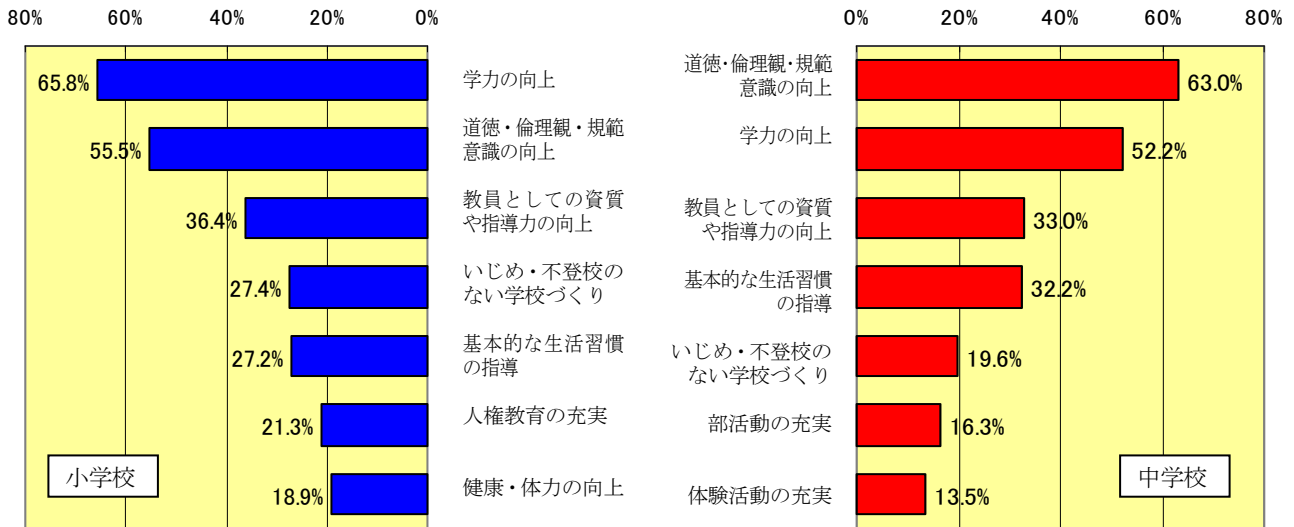


	神戸市調査	全国調査平均	差
テストで間違えたところを後で勉強する	小学校	51.8%	+5.1
	中学校	39.7%	+14.7

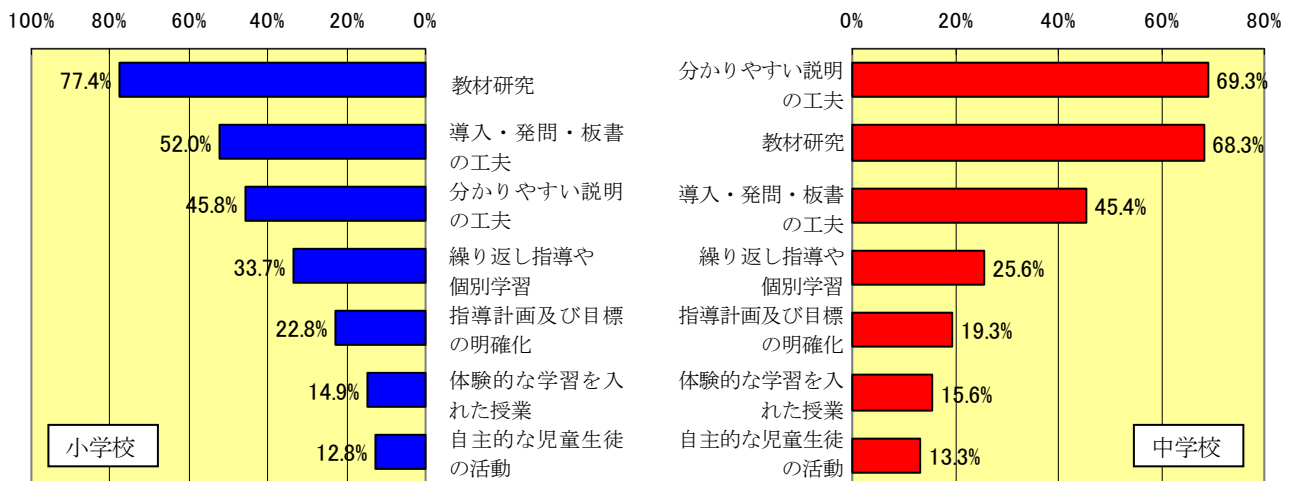
全国調査は小学6年生、中学3年生を対象に、22年度の4月に実施したもの。(神戸市調査は、小学5年生、中学2年生を対象に実施)  
 ○「テストで間違えたところを勉強する」割合は、小中学校ともに全国調査の結果を上回っており、特に、神戸の中学2年生は、全国の中学3年生に比べて、14.7ポイントと大きく上回っている。

(2) 学習状況等に関する教員調査より

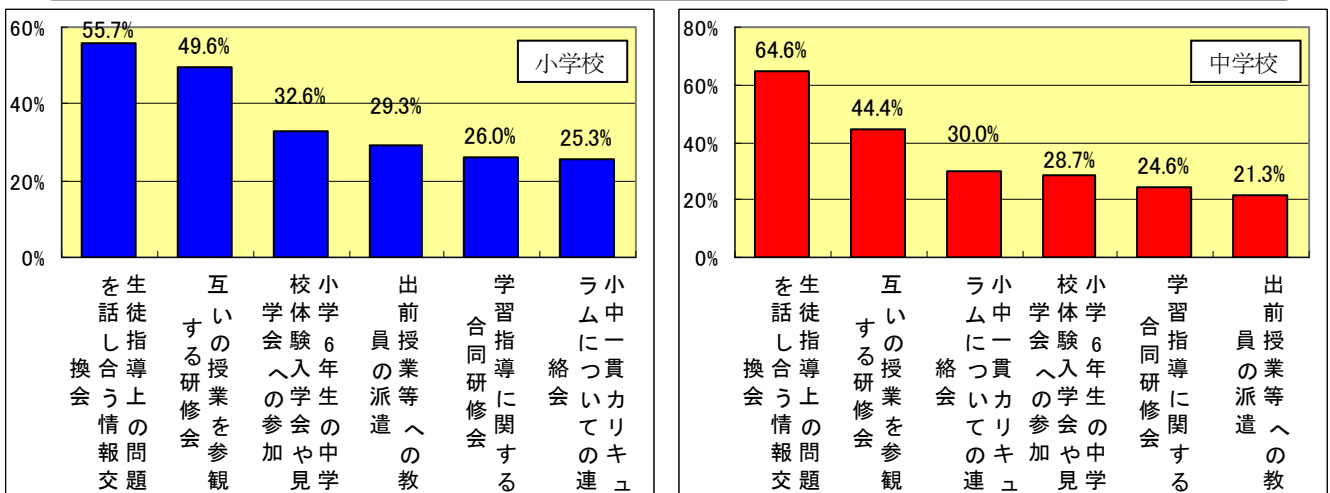
教育課題の中で特に重視していきたい項目は何ですか？（3つ選択）



「分かる授業」を行うために日頃から重視している項目は何ですか？（3つ選択）



小・中学校の連携のために、今後どのような取組を重視するべきだと思いますか？（3つ選択）



## 5. 学習指導の充実のために

### (1) 新学習指導要領の全面実施に向けた対応

- 神戸スタンダード（学習指導標準）の3つの構成要素である「神戸市教育課程基準」「神戸ミニマム」「活用力アップ授業実践事例集」の活用を図り、確かな学力を育てる。
- 小学校では、新学習指導要領の全面実施への円滑な移行と、分かる授業のさらなる推進に向けて作成した「小学校新教育課程5点セット」（①「新旧教科書比較」 ②「自校プラン参考集」 ③「神戸市小学校評価規準参考集」 ④「分かる授業を進めるポイント集」 ⑤「指導の重点」）の活用を推進する。また、中学校では、「指導の重点」の活用を推進するとともに、新たに作成した「神戸市観点別評価規準参考資料」を活用し、全面実施後の新しい教科書に対応するための準備を進める。

### (2) 基礎・基本の定着

- 「算数ダッシュ」「算数エース」「理科アシストカード」「エンパワー数学・英語」等の神戸市独自教材の効果的な活用を一層進める。
- 「学びの基礎力向上推進事業」（学力向上を図るために意欲的な実践活動を推進する学校に非常勤職員を配置し、個別指導や複数指導、少人数指導を行う）等を活用し、学力向上及び学習・生活改善等の取組を進める。

### (3) 活用する力の向上

- 全ての教科において「読んで 考えて まとめながら書く」指導を推進していく。
- 「読んで 考えて まとめながら書く」力を育成するため「神戸まとめの達人推進事業」を実施し、取組を計画的・体系的に推進していく。
  - ①全小中学校において、授業や学校、家庭生活の幅広い場面の中で「まとめて書く」活動に取り組む「神戸まとめの達人運動」を展開する。校長先生の講話や新聞記事、神戸市開発教材等を活用し、一定の条件のもとで簡潔にまとめる学習を行っていく。全小中学校で取組が定着するように、「(仮称)神戸まとめの達人一週間」を設け、各学校における「読んで 考えて まとめながら書く」活動の拡大を図る。
  - ②中学校向けに、作成した「神戸まとめの達人」（資料集）を活用し「まとめて書く力」を伸ばすとともに、地元神戸への理解を深めていく。小学校では「ことばひろがる よみときブック」の一層の活用を進めていく。
  - ③各小中学校での運動を円滑に進めるため、授業のポイントや実践事例を集約し、分かりやすくまとめた「実践ガイド」を作成する。
  - ④「重点推進校」の指定や、非常勤職員の配置により、先導的な取組を後押しする。

### (4) 学習面における小中連携

- 義務教育9年間で子どもを育てるという視点に立ち、「小中一貫カリキュラム教科拠点地区」を教科ごとに指定し、小中学校間の指導内容や指導法などについて研究を進めていく。
- 「小中連携モデル地区」を中心として、情報の共有、各教科での連携、合同研修の開催等の幅広い取組を推進していく。

### (5) 読書活動の推進

- 「こうべっ子読書活動推進プラン」（第2次神戸市子ども読書活動推進計画）に基づき、「市民が支える子どもの読書」をテーマに、家庭・地域・学校園・図書館が連携し、子どもが自ら読書に親しむことができる環境を整備する。
- 論理的な思考とともに豊かな心を育む基盤ともなる読書活動を推進するため、先進的な取組事例をまとめた「読書活動実践事例集」の活用を図るとともに、朝の読書の推進、学校図書館の充実、外部人材との連携等に取り組んでいく。

### (6) 家庭学習と生活習慣支援

- 各学校では、学校独自の「学習の手引き」の作成等、家庭での生活習慣（睡眠時間や朝食の摂取等）や学習習慣について家庭と連携した取組を進めていく。